

2026年8月28日

各 位

SBI ホールディングス株式会社

インドネシア最大級のオンライン総合投資プラットフォーム Ajaib グループへの戦略的出資に関するお知らせ

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」。当社および当社グループ各社を総称して「SBI グループ」）は、当社子会社を通じて、株式、暗号資産、決済および外国為替（FX）を取り扱うインドネシア最大級のオンライン総合投資プラットフォームを運営する Ajaib グループ（共同創業者兼 CEO：Anderson Sumarli）への戦略的出資（以下、「本件出資」）を行いましたので、お知らせいたします。

SBI グループは、本件出資を通じて Ajaib グループの株式を 20%取得しており、Ajaib グループは当社の持分法適用関連会社となります。

Ajaib グループはインドネシア・ジャカルタを拠点とし、オンライン証券会社として事業を開始した後、伝統的金融資産およびデジタル資産の双方を取り扱う総合的な投資・資金管理プラットフォームへと発展してきました。現在では数百万名の個人投資家から支持を受けており、インドネシア国内外の株式、債券、投資信託、ETF、暗号資産、ステーブルコイン、コモディティおよび FX への投資機会に加え、決済や預金サービスを提供しています。法人顧客向けには OTC 型のステーブルコイン決済サービスを展開し、インドネシアの企業および機関投資家に対して、個別ニーズに応じたソリューションと流動性を提供しています。投資商品およびデジタル資産の双方における深い専門性に加え、強力なブランド力と全国規模の顧客基盤を有する Ajaib グループは、インドネシアおよびアジア地域におけるトークン化金融インフラの構築を担う独自の優位性を有します。

SBI グループは、SBI VC トレード（日本）、Coinhako（シンガポール）をはじめ世界各国で暗号資産取引所を保有し、英国の B2C2 を通じて暗号資産のマーケットメーカー事業を展開しています。またデジタルアセット商品の多様化に向けて、SBI グローバルアセットマネジメントがシンガポールの DigiFT と共同で、世界初のパブリック・オンチェーン化された日本株式ファンドを提供し、シンガポールの Startale Group と共同で、SBI 新生信託銀行を受託者とする日本初の信託型ステーブルコイン JPYSC を発行し、金融向け L1 ブロックチェーンの Strium を開発するなど、グローバルでのデジタルアセット普及に向けて、様々な取り組みを推進しております。

Ajaib グループと SBI グループの強みを組み合わせることで、両社はアジアにおけるデジタルアセットの普及を推進してまいります。

当社 代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝によるコメント：「トークン化が進む時代において、デジタルアセットのグローバルなインフラの重要性はかつてないほどに高まっています。SBI グループではデジタルな次世代金融インフラを構築し、APAC の発展に貢献する SBI APAC デジタル経済圏構想を掲げており、その土台として、東南アジア各国を中心に世界中でデジタルアセットの取引所ネットワークを構築しています。Ajaib グループは伝統的金融商品とデジタルアセットと共に扱うプラットフォームとして、SBI グループの構想に完全にマッチした存在であり、この度、戦略的な提携関係を構築できることを大変嬉しく思います。」

Ajaib グループ 共同創業者兼 CEO Anderson Sumarli 氏によるコメント:「SBI グループを長期的な戦略パートナーとして迎えることができ、大変光栄に思います。東南アジアには、これから金融サービスを利用し始める次の 10 億人の人々が存在し、その金融体験は、デジタル資産、トークン化 RWA、そして AI によって形作られていくでしょう。私たちは北尾会長と同様に、その未来を支えるインフラが今まさに構築されていると確信しています。そして、このビジョンを共有するうえで、SBI グループ以上のパートナーはいません。両社で協力し、インドネシアのみならず世界に向けて、新しい世代を現代的な金融サービスへと導くという使命を加速させてまいります。」

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126